

令和2年6月18日

東京都小学校音楽教育研究会会員の皆様

東京都小学校音楽教育研究会
会長 峯岸 敦子
(世田谷区立八幡小学校長)

令和2年度東京都小学校音楽教育研究会第63回研究大会多摩南ゾーン大会の開催方法について

令和2年度東京都小学校音楽教育研究会第63回研究大会多摩南ゾーン大会は、内容を精選した研究集録を配布する紙面発表のみといたします。

これまで、多摩南ゾーン(八王子市、調布市、狛江市、府中市、多摩市、稲城市)では、大会主題「見つけよう 深めよう 生かそう 音楽を」のもと、大会に向けて研究会を組織し、令和3年1月22日(金)調布市文化会館たづくり・調布市グリーンホールにおいて開催される予定の研究大会に向けて、共同研究に取り組んできました。4つの授業、3つの研究演奏を行う学校を中心に、各市が連携した研究の手応えを感じるなか、新型コロナウイルス感染症の災禍に見舞われてしまいました。臨時休校が3か月続き、音楽活動に対する行動制限や集団での3密を避けるという事態にあつて、何とか開催できないものかと検討を重ねてまいりましたが、下記理由により、会場での大会の開催を中止し、紙面発表のみという苦渋の決断をいたしました。これまで多摩南ゾーン大会に向けて真摯に取り組んでこられた先生方のご努力に敬意と感謝を表します。

【変更の理由】

◎ 感染終息には1年間以上を要するとの情報もあり、大会中の音楽活動や移動等により児童が感染するというリスクがある、という点と、多人数の集まる大会が「3密」になることが予想され、参加者が感染するというリスクがある、という見地から開催は難しい。

◎ 新型コロナウイルス感染による緊急事態宣言が解除されたとはいえ、解除後も市の研究会の活動そのものも少なくなり、開催地区の学校で大会準備のための音楽授業・研究等が十分に行えない。

◎ 開催地の教員は自校の校務対応が優先であり1学期の学校再開後、更に2学期以降も校内における感染防止に向けた様々な対応が予測され、校務多忙が予測され、大会運営準備にかかわることが難しく、会員も同様に大会参加が難しいと予測される。

【今後の対応】

* 令和3年度ゾーン大会は、輪番開催順のとおり、山の手Cゾーン大会となります。